

質問	回答
Q1： 特装車にて、3回目の売価改定は行わないのでしょうか。 (上昇している人件費、減価償却費などを何で回収されるのでしょうか)	A1： 第3弾の売価改定については、実施時期等含めて現在検討しております。売価改定を実施する際は、リリースにてお知らせさせていただきます。
Q2： 2026年3月期について、特別損益、および税負担の前提を確認させてください。	A2: 特別損益については、固定資産処分損を若干織り込んだ計画にしております。 また、税負担については、32％程度の税金負担率で親会社株主に帰属する当期純利益を計画しております。
Q3： 2026年3月期において、特装車受注が伸びないとする理由を教えてください。	A3： 2025年3月期は、特装車事業部で、塵芥車、脱着車の受注が増加しました。これは新ブラ法の改正に対応した駆け込み需要に伴うもの等と認識しており、2026年3月期はこれらが落ち着くものと想定しております。 このほか、グループ会社の東邦車輛で海運関係の大口受注や、防衛関連で初度費を含む大口受注がありました。2026年3月期はこれらが見込まれないこと等から、前期比で減少する計画としております。
Q4： 2026年3月期における要因別の増減見通しについて、ご教示いただけないでしょうか。	A4： 2026年3月期は、前期比で約11億円の営業利益増を見込んでおります。 要因別の増減要因は以下の通りです。 売上・生産増減：+67億円 売価改善：+40億円 為替差：△10億円（為替前提を140円で設定） 原材料費の増加：△23億円 運営費の増加：△71億円（人件費を中心に増加） その他：+8億円